



カヤックを使った新河岸川の景観資源調査と清掃活動を実施

平成23年11月8日（火）に新河岸川広域景観づくり連絡会の主催で「カヤックを使った新河岸川の景観資源調査」を実施しました。

今回初めて舟下りを行うため不慣れな点もありましたが、無事に終わることができました。また、地域間の交流を図ることができました。この成果を活かして次につなげていくようにしましょう。

今回の活動は①新河岸川の清掃②新河岸川からの景観の写真の撮影③舟下りの試走を目的に行いました。富士見市にある新河岸川と富士見江川の合流点をスタートし、志木市のいろは橋まで約3kmの区間で実施しました。当日は、連絡会の会員の方を中心に36名が参加しました。2人乗りのカヤック7艘を使って川辺及び堤防のゴミ拾いと写真撮影を行いました。

開催するにあたり、7月に全体会議、9、10月に運営委員会を開催して、どのような内容が良いか、当日の役割分担などについて話し合いをしていきました。参加者からは、「カヤックに乗って見る川は、堤防などから見るのと大きな違いがある」「水際にある草木がある場所はとても景観が良い」などの感想がありました。



出発前の参加者の集合写真

当日のタイムスケジュール

- 9:00~10:10 集合、受付、カヤックの準備
(新河岸川と富士見江川合流点)
- 10:10~11:30 カヤックによる舟下り、ゴミ拾い
- 11:30~12:00 カヤックの引き上げ
(いろは橋付近の船着き場)
- 12:00~12:40 昼食休憩
- 12:40~13:00 回収ゴミのまとめ、片づけ
- 13:00 解散

準備の様子

参加者全員で7台のカヤックに足踏みのポンプを使って空気をいれました。カヤックが大きかった為、交代しながら準備をしました。



カヤックに空気をいれている様子



カヤックを川に下している様子。脚立を使って胴長を着た2名の方がフォローしました。

カヤックから見た新河岸川の景観



富士見江川合流点～木染橋

両側の堤防が草刈りされているため、遠くにある斜面林ほどよい大きさに見えます。



水際の自然の木々

川辺沿いの草木が近くに見えます。自然の堤防が心地良いです。



木染橋

橋の下は流れが急になるので、奥の斜面林が迫ってくる感覚になります。



木染橋から下流を見る

川が蛇行しているのが見えます。カヤックを漕いでいる様子は川に活気がでているようです。



木染橋～岡坂橋の右岸の斜面林

斜面林がより大きく見えます。



岡坂橋

橋全体が目の前に迫って見えます。他の橋と比べると護岸が人工的な印象です。



ススキが生い茂っている

秋の季節を感じて心地よい気分になります。



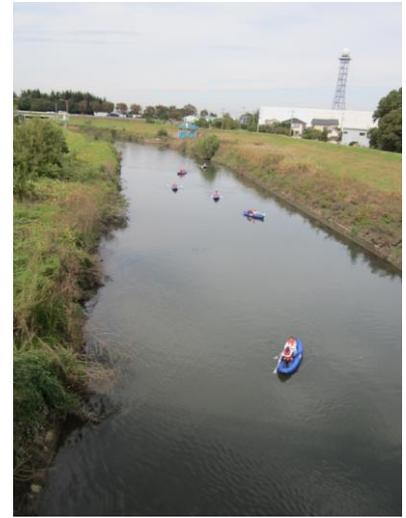
2階部分が見える住宅地

川辺からは川沿いにある住宅の屋根（2階部分）が見えます。



袋橋

川辺から見た場合と橋の上から見た景観は違って見えます。橋から見た場合、広い範囲まで見ることができます。橋は川を眺める良好な視点場になります。



袋橋から上流を見たカヤックの様子



学校の桜並木

春の季節になると桜がきれいに見える場所になります。



いろは橋

右側に見えるのは斜面林になります。

★アンケートの結果 当日参加された方から貴重なご意見・感想をたくさんいただきました。

アンケート回答数 17

○お住まい
川越市(3) ふじみ野市(1) 富士見市(2)
志木市(1) 朝霞市(7) 和光市(3)



内容について
とても良かった(9) 良かった(6)
普通(1) 悪かった(1)
(理由など)

- ・もっと多くの人達に体験してもらいたい。
- ・水面に浮かんでいる感覚が心地よい。
- ・川の汚れを実感したのできれいにしたいと感じた。
- ・カヤックを使って川辺のゴミをとることができた。
- ・カヤックの準備、片づけに苦労した。

良かった場所

- ・水鳥が川面をけて飛び立つ様子
- ・自然の草木がある場所
- ・川面から見る景色が楽しかった。
- ・いろは橋の手前からの景観が良かった。

悪かった場所

- ・排水口に汚水がでて川に流入している。
- ・点々とゴミが落ちていた。
- ・川底にヘドロ(30~60cm程度)がたまっていた。
- ・水際にコンクリート、鉄パイプが見える場所は景観上良くない。

全体の感想

- ・カヤックに漕ぐのに一生懸命になり、周りのことまで気がまわらなかった。
- ・カヤック体験を共有することで実感した。無事に事故なく終わってよかった。
- ・連絡会の取組みは回を重ねることに意義があると思う。
- ・他団体との交流が図れた。



終了時の集合写真



回収したゴミ

連絡会で取組んでいきたいこと

- ・カヤックの川下りは市民を新河岸川に引き付ける効果があるので継続してやりたい。
- ・多くの市民に呼び掛けてゴミのきれいな川にしたい。
- ・川のことだけでなく、広域の都市景観、道路、建物のこと等領域を広げて取組んでみてはどうか。

イベント実施後に意見交換をしました。

12月3日に富士見市サンライトホールで第4回運営委員会を開催しました。11月8日に行った「カヤックを使った新河岸川の景観資源調査」のなかで気付いたこと、課題などについて意見交換を行いました。

出席者からは「他団体との交流ができてよかった。」「段取り、役割を明確にしてスムーズにできるようにする。」「今回の体験を次につなげていく」などの意見がでました。



新河岸川広域景観プロジェクト便に関するお問い合わせ先
新河岸川広域景観づくり連絡会 事務局
埼玉県 都市整備部 田園都市づくり課 景観・屋外広告物担当
電話 048-830-5367 (直通) / FAX 048-830-4879
ホームページアドレス: <http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/m04/>

